



# 谷口博文の政策イノベーション

Date : 2019年 9月29日

## No.034 九州デジタルガバメント構想(その5) 実現に向けた工程表

「いいね！」991件  
話題にしている人191人

参考 : <https://www.facebook.com/SuperCityOpenLabo/>

では具体的にどのようなプロセスを経て九州DG(デジタルガバメント)ができるのでしょうか？

次のような工程が考えられます。

1. オープンイノベーション・プラットフォームの構築
2. 小規模自治体でのプロジェクト実施
3. 九州の他の自治体に横展開
4. サイバー空間とフィジカル空間の融合··Society5.0の実現

目指すところや考え方は今政府が進めているスーパーシティ構想と非常に近いです。

ただ国のイニシアティブのもとでのムーブメントがどこまで本物になれるか。法律改正や予算計上を前提にすると、従来のように形だけの実証実験に止まりアリバイ行政に終わらないか、心配です。

確かに私も規制や制度のバリアがイノベーションを大きく阻害していると思っていますが、組織の体質やマインドセットのバリアも大きい。これをトップダウンで変えることができれば、状況は大きく改善するのではないかでしょうか。

その意味で志の高いリーダーシップのある自治体の首長を念頭に置きながら、次回以降、1から4までのプロセスを順に解説していきます。